

# 第15回フリースペース 受賞者発表会

# ザ 2024 チャレンジ アート 展示祭

Free Space Challenge Tokushima  
Art Festival 2024 The Final  
Award Winner's Presentation

とき 2024年3月9日(土)、10日(日)  
ところ 徳島県立近代美術館、徳島県立二十一世紀館(文化の森総合公園)  
入場無料

## 展示部門 Exhibition 2024年3月9日(土)、10日(日)9:30~17:00(10日は16:30まで)

### ◆徳島県立近代美術館 展示室3(2F)

#### 受賞者

- グランプリ ····· yoyoru (絵画)  
準グランプリ ····· 山田百合愛 (絵画)  
チャレンジ奨励賞 ··· 笠原あろは (自由創作)  
··· SHOTA ISAWA (現代アート)  
··· ひらぴた (漫画、イラスト)  
MIP賞 ····· ひ ka る (絵画)

## パフォーマンス部門 Performance 2024年3月10日(日)13:30開場14:00開演(16:00終演予定)

### ◆徳島県立二十一世紀館 イベントホール(1F)

#### 受賞者

- グランプリ ····· 山口和也 (ダンスパフォーマンス(『一人芝居含む』))  
準グランプリ ····· Shota (ジャグリング、けん玉、ダンス)  
チャレンジ奨励賞 ··· 劇団まんまる (演劇)  
··· 枝川詩音 (サーカスパフォーマンス)  
MIP賞 ····· 伊井ひとみ (舞踏)

### ◆県内巡回 Traveling exhibition

阿南市文化会館 夢ホール

[展示部門] 2024年4月20日(土)~4月27日(土)

[パフォーマンス部門] 2024年4月27日(土)

T770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内  
県立近代美術館 Tel: 088-668-1088  
県立二十一世紀館 Tel: 088-668-1111  
メール chato@bunmori.tokushima.jp  
公式サイト <https://art.bunmori.tokushima.jp/challenge/2024>  
Twitter @tokkinby Instagram @tokushimamuseum



※グリーン購入法適合製品を使用しています。

主催 徳島県立近代美術館、徳島県立二十一世紀館

様々な表現活動を行っている人や、あこがれを持っている人たちに、ひろく活動発表の場を提供し、未来へ羽ばたく徳島発のアーティストを発見・支援しようという「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭」。今回で15回目となるこの芸術祭は、去る1月23日から2月4日までの間、県立近代美術館を会場に、絵画、彫刻、工芸、写真などの「展示部門」と、音楽、ダンス、演芸などの「パフォーマンス部門」の二部門で開催されました。出品・出演されたのは、公募と抽選で選ばれた徳島県出身または在住の皆さん。年齢も経験も問わず、事前の審査もないことから、老若男女、初心者からプロ級までの才能豊かでユニークなアーティストたちが集まりました。

展示部門は約5mの壁面、パフォーマンス部門は15分以内、という条件でグランプリを巡って競いあい、厳正な審査の結果、受賞者が決定。そして、このたび受賞者の皆さんによる「受賞者発表会」を開催します。さらにパワーアップした受賞者の作品をお楽しみ下さい。

なお、「チャレンジとくしま芸術祭」は、今回の「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル」をもって終了いたします。美術館では今後も皆様にお楽しみいただける様々なイベントを企画してまいります、ご期待下さい。そしてこれまで参加、また応援して下さった皆さん、15年間どうありがとうございました。

## 受賞者・受賞作品のご紹介

展示部門 Exhibition 1月23日(火)～2月4日(日) 徳島県立近代美術館 展示室3(2F)  
「展示部門」42組(応募数85組)※展示場所は抽選で決定しました。

### ・・・ ● グランプリ ● ● ● ☆ 準グランプリ ☆ ● ●



yoyoru (絵画)  
〈わたしの星、あなたの星 No.1 ~ No.100〉 2020-24年  
アクリル画

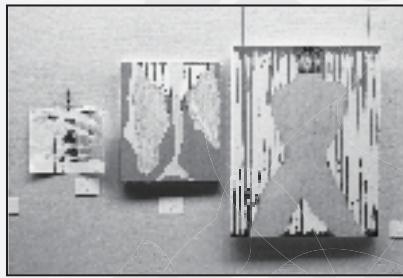


山田百合愛 (絵画)  
〈You and me way of life CIRCUS〉 2023年  
アクリル絵具、ボールペン、copic(MULTILINER SP 0.25)  
ペニヤ板、ケント紙

【受賞理由】  
擬人化された動物たちという舞台設定が面白く、一見楽しそうに見えるが、そこに社会的なメッセージ性が込められている。作品のクオリティも高く、夜空を見上げるよう、高めの位置に展示した点にも工夫が見られる。自分が表現したい世界を描き切ろうという意気込みが伝わってきた。さらなる成長を目指して、制作を継続していくことを期待したい。

### ◆ MIP賞 ◆

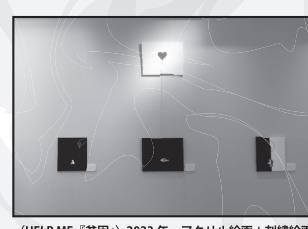
#### ひkaル(絵画)



〔抱えない〕他 2018-23年  
鉛筆、色鉛筆、絵具、ボールペン、  
クレヨン、油性ペン、紐

### チャレンジ奨励賞

#### SHOTA ISAWA (現代アート)



【受賞理由】  
白と黒のコントラストが深刻な社会問題を明確に表現しており、ハートに向かう赤い糸は、その問題の方向性を示している。赤い糸の張り具合は、社会問題をめぐる緊張感を思わせ、壁面を広く使った展示構成も印象的である。シンプルな構成でメッセージがよく伝わってくる。これからも表現の幅をさらに拓けていくことを期待したい。

#### 笠原あろは(自由創作)

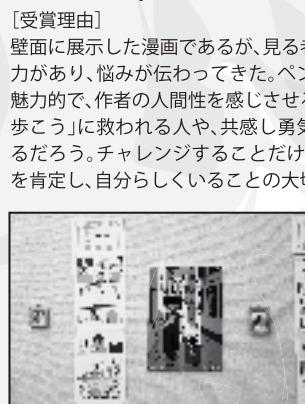


【受賞理由】  
中学生の自分自身とカラスを重ね、作品をつくることで自分をみつめている。模索しながら、造形を通じて生き物の生命観をしっかりと表現しようとしていることが伝わってくる。また、テーブルの色の反射がカラスの羽の色にも効果を与えている。自分の描き方を大切にして、自分に見えている世界を、作品を通じてこれからももっと見せてもらいたい。

#### 審査員 Judges (敬称略)

内藤隆(鳴門教育大学教授)  
佐原理(徳島大学准教授)  
丸中登紀子(フランス語講師・翻訳通訳者)  
島尾竜介(近代美術館長)  
竹内利夫(近代美術館上席学芸員)

#### ひらぴた(漫画、イラスト)



〔うつむいて歩こう〕2023-24年  
コンピューターグラフィックス

## 受賞者 発表会

### 展示部門 Exhibition

2024年3月9日(土)、10日(日) 9:30～17:00(10日は16:30まで) 徳島県立近代美術館 展示室3(2F)

### パフォーマンス部門 Performance

2024年3月10日(日) 13:30 開場 14:00 開演 (16:00 終演予定) 徳島県立二十一世紀館 イベントホール (1F)

グランプリ ..... 部門ごとに各1組 挑戦の度合い、表現の質の高さ、将来性などの総合力がもっとも認められるもの

準グランプリ ..... 部門ごとに各1組グランプリに次ぐもの

チャレンジ奨励賞 ..... 展示部門は3組まで、パフォーマンス部門は2組まで \*該当者のある場合のみ

将来性・チャレンジ精神において特に優れていると認められるもの

MIP賞 ..... 部門ごとに各1組 \*該当者のある場合のみ 最も印象に残ったと認められるもの  
(モーストインプレッシブプレイヤー)

## 賞の種類

### パフォーマンス部門 Performance 1月28日(日) 徳島県立近代美術館 ロビー(2F)

「パフォーマンス部門」18組(うち棄権1組、応募数30組)※上演順は抽選で決定しました。

### ・・・ ● グランプリ ● ● ● ☆ 準グランプリ ☆ ● ●



山口和也(ダンスパフォーマンス《一人芝居含む》)

【受賞理由】

これまでこの芸術祭で挑戦してきた一人芝居、歌、ダンスの集大成であり、オーソドックスだが強弱のある構成が、観客を物語の世界にスムーズに引き込んだ。独学で取り組んできた努力が、自分にしか出せない味わいのある表現力につながり、独特の世界観を生み出した。チャレンジとくしま芸術祭のファイナルにふさわしいパフォーマンスだった。



Shota(ジャグリング、けん玉、ダンス)

【受賞理由】

身体全体を上手く使ったジャグリングであり、音楽とのあわせ方もダンスのように絶妙で、格好良さを感じた。観客にアピールするポイントを押させて、会場を沸かせるエンターテイメント性もあり、センスの良さを感じる。これからも、さらに技術の向上や表現力の追求につとめ、大きな花を咲かすことを期待したい。

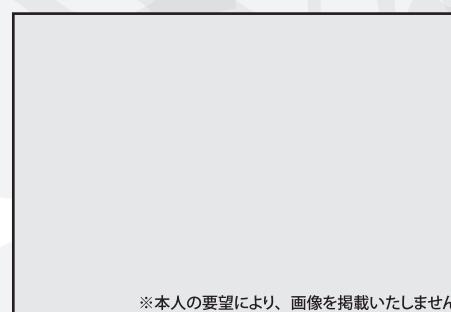
### ◆ チャレンジ奨励賞 ◆



劇団まんまる(演劇)

【受賞理由】

タイトルの「いま。」にふわわしく、世の中で現在進行中の重大な事柄を取り上げた。この後どうなり、私たちはどうすればよいのかと、観客の気持ちを揺さぶり、リアルな感情を呼び起こした。絶妙なキャラクター設定やさりげない笑いの要素も光っていた。扱いの難しい時事ネタに短期間でチャレンジし、脚本も演技も上手くまとめあげた力量を評価する。



枝川詩音(サーカスパフォーマンス) 伊井ひとみ(舞踏)

【受賞理由】

構成に安定感があり、コミカルな要素も取り入れた見せ方で、観客を引き込むパフォーマンスとなっていた。自分が作り上げたい世界観を持っていることが感じられるので、それを目指して、これからも技術力や構成力を追求し、レベルアップに努めて欲しい。



※本人の要望により、画像を掲載いたしません。

#### 審査員 Judges (敬称略)

森恵子(公益財団法人 阿波人形浄瑠璃振興会会長)  
カタタチサト(ダンサー・演出家)  
橋本真味(徳島新聞社事業局 事業部)  
丸山貴成(スタジオソル代表)  
新居美佐子(文化の森振興センター所長・二十一世紀館長)